

# 紙文書のデータ化&廃棄（スペース削減）で一石二鳥！ スキャニングサービス&溶解処理

弊社の紙文書スキャニングサービスでは、溶解処理まで一貫して依頼していただけます

紙文書電子化（スキャン）のご依頼

紙文書お預かり

スキャニング作業

データ納品（PDF など）

データ確認（お客様）

紙文書分別

処理工程別に分別（紙：溶解処理、トレーシングペーパー /  
フィルム類：焼却処理、金具付きファイル類：産廃処理）

溶解処理工場へ持込・溶解処理  
（証明書発行）



※提携している溶解処理工場は「機密文書専用溶解炉」を保有しており、  
ダンボールを未開封のまま溶解します（板紙に再生されます）

※溶解処理のみのご依頼はお請けできません

※詳しくは営業担当までご連絡ください



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<https://www.d-kowa.co.jp/>

<https://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状  
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史  
電子化業務 紙文書・紙図面スキャニング（電子化）サービス、データエントリー（入力）、データコンバート  
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力（トレース・設計）、電子納品データ作成  
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作  
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャニング、WEB制作

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

# コウワ/ワ MONTHLY NEWS LETTER Vol.91

2023

4

April

コウワ/ワ 4 Vol.91

発行所：株式会社宏和  
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東1-7-22 TEL:06-6789-2313

(株)宏和



マスク着用が個人の判断になり、いよいよポスト・コロナ本番へ突入という感じです。デジタル化の流れや、少子化（人手不足）の進行、人件費をはじめ様々なコストの上昇など、中小零細企業を取り巻く環境は厳しくなる一方ですが、自社の存在価値をしっかりと見据えて難局を乗り越えていきたいと思っています。

代表取締役 日笠宏昭

# 人生を変える本 ～ベストセラー本を読みました～

今月は、ネットで「人生を変えた本」で検索するとよく出てくる本をピックアップして読んでみました。その中から3冊を紹介します。いずれもベストセラー本ですので読んだ方もおられるのではないかと思います。出版されたのは少し前ですので、3点とも中古ブックストアで購入できます。読んで損はない本ばかりですのでお暇な時にどうぞ。

## 【チーズはどこへ消えた?】

スペンサー・ジョンソン著 門田美鈴訳 扶桑社



本文は90ページで文字も少なくあっという間に読める本です。物語形式で、登場するのは、2匹のネズミと2人の小人だけ。チーズがなくなると、本能的にチーズを求めて他の場所を探しに行くネズミと、憤慨したり、悲しんだり、あれやこれやと理由を探して行動しない小人たちが対照的に書かれています。人間は、一旦落ち着いた環境に慣れると、それをまるで既得権のように考えたり、他人のせいそれが脅かされているかのように考え、変化に対応できない、という誰もが陥りやすい思考を戒めています。人生の岐路に立った時に読むと背中を押してくれそうな本です。

## 【嫌われる勇気～自己啓発の源流「アドラー」の教え～】

岸見一郎・古賀史健著 ダイアモンド社



フロイト、ユングと並び「心理学の3大巨頭」と称される、アルフレッド・アドラーの思想(アドラー心理学)を「青年と哲人の対話編」という物語形式を用いてまとめられた本です。欧米で絶大な人気を誇るアドラー心理学は、「どうすれば人は幸せに生きることができるか」という哲学的な問いに、きわめてシンプルかつ具体的な答えを提示します。物語は、第一夜から第五夜まで青年と哲人の対話が続きます。「世界が複雑なのではなく、“あなた”が世界を複雑なもの



している」「人は怒りを捏造する」「すべての悩みは「対人関係の悩み」である」「承認欲求を否定する」「自由とは他者から嫌われることである」など、

ハッとさせる言葉とその説明に引き込まれていきます。一方でトラウマを否定し、フロイトやユングと対立する立場で、批判的な意見も出ているようですが、読む価値は非常に高い本だと思います。

## 【夢をかなえるゾウ1】

水野敬也著 文響社(文庫版)



一応夢はあるが、毎日ダラダラと流される生活を送っている若者のところに、関西弁を話すゾウの神様“ガネーシャ”(注1)が現れ、いろいろな教えを若者に伝えるというお話。いわゆる自己啓発本のように堅苦しくなく、ガネーシャと若者が軽妙な会話を交わしながら本が進んでいきます。松下幸之助、ビル・ゲイツ、イチローなど偉人の話も随所に織り込みながら、夢をかなえるために何をすればよいか、具体的に示唆し

てくれます。

マンネリ化した日常を打破したい人に良い本かもしれません。(続編も執筆され、現在4まで出版されています。)

(注1)

ガネーシャは、ヒンドゥー教の神の一柱。インドでは現世利益をもたらす神とされ、非常に人気があります。太鼓腹の人間の身体に片方の牙の折れた象の頭をもった神で、4本の腕をもっています。障害を取り去り、また財産をもたらすと言われ、事業開始と商業の神・学問の神とされています。(ウィキペディアより)

